

1 本年度の重点教育目標

よく考え 共に学ぶ子どもの育成

2 本年度の取組の重点

①「生きる力」を育み、創意と調和のある教育課程 ②主体的対話的で深い学習の充実  
③「チーム東小」として組織的かつ創造的な運営体制 ④心理作用の特質を考慮し、生命と安全を守る危機管理  
⑤いじめの防止と、温かな支持的風土の醸成 ⑥専門的教養と職能意識、実践的指導力を高める研修の充実  
⑦学びの場にふさわしい環境整備と教材教具の有効活用 ⑧多様な資質や能力を伸ばす、段差のない小中連携  
⑨小小連携のさらなる促進 ⑩楽しく有意義な体験活動の展開、異学年交流や異校種間の協働・連携交流  
⑪地域と共にある学校への転換(コミュニティスクール充実)  
⑫教育公務員としての自覚と、コンプライアンスの意識を高める服務規律の徹底 ⑬働き方改革

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	主な意見(改善策など)
確かな学力を育む教育の推進	東小学校スタンダードを基に、学習の基礎的・基本的な力が身に付き、自ら学ぶ子の育成が図られたか。	b	スタンダードを徹底反復し、聞く・話す等の態度の育成に重点を置いた指導を進める。	A	A	
	教材研究、指導法の研究など、日々の研鑽に努め、授業の質の向上が図られたか。	b	基礎基本の定着を目指した教材研究の徹底と指導方法の改善を進める。	A	A	
豊かな心を育む教育の推進	いじめのない学校を目指し、道徳教育を要とした心の教育の充実が図られたか。	a	道徳科を要とした心の教育の継続と日常生活の実践に生かしていく。	A	A	
	子ども一人一人の個性や能力の伸長を目指し、児童理解に基づく指導がなされ、生徒指導の充実が図られたか。	b	予めあらゆることを想定した開発的な生徒指導を展開していく。	A	A	
健やかな体と安全意識を育む教育の推進	健康の維持と体力の向上を図る指導の充実がなされたか。	b	体力テストで明確になった課題を克服するような取組を取り入れていく。	A	A	
	危機管理に対する対策や意識を高め、休み時間の巡視や登下校の安全指導を行うなど、校内外の児童の安全確保の充実が図られたか。	b	交通安全・不審者対策・災害対策等に加え、徹底したコロナ対策を継続するとともに、未然に防止する手立てを実行していく。	A	A	
基本的生活習慣の推進	早寝・早起き・朝ごはんなど、生活リズムを意識した基本的な生活習慣が身に付くよう適切な指導の充実が図られた。	b	家庭との連携を要に、基本的な生活習慣を身に付けるための生活リズムチェックシートを活用し、自分の生活を振り返るようにする。	A	A	
特別活動の推進	様々な学校行事を通して、教育目標の達成を目指し、集団の一員としての自覚と規律ある態度の育成が図られた。	b	集団の一員としての自覚や、やり遂げることの良さを感じ、自己肯定感が高まる指導をする。	A	A	
家庭・地域・関係機関との連携・協働した教育活動の推進	子どもの様子を保護者に伝えたり、説明したりする授業参観や懇談内容の工夫が図られた。	a	ICTを活用するなど、コロナ禍においても地域・家庭との連携を深める手段を継続していく。	A	A	
	家庭や地域に積極的に情報発信するとともに、意見や要望を受け止め、改善に向けたなど連携が図られた。	b	児童・生徒の連携について地域も含めた情報の共有ができる組織の活用を考える。	A	A	

■ 自己評価達成状況(学校)

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価(学校関係者)

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。